

定例公安委員会の開催状況について

令和2年2月13日（木）に、第5回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 交通規制の実施（信号機の新設）及び解除（信号機の撤去）について

信号機1基の新設及び4基の撤去について説明を受け、審議を行った。

委員のコメント

- 信号機の新設及び撤去については、交通の安全を確保するために適切な時期に遅滞なく行ってほしい。
- 信号機の撤去に当たっては、撤去した場所に危険が生じないように配慮した上で、実施してほしい。
- 適切な交通規制の実施であると思われるので、この案については了解である。今後も交通環境の変化が予想されるので、付近住民の要望等を考慮の上、適切な安全対策を行ってほしい。

2 平成31年度警察官・警察行政職の採用募集活動の推進結果等について

平成31年度警察官・警察行政職の採用募集活動の推進結果、就職ガイダンスの体験型カリキュラムを充実させたインターンシップの初開催や在外公館勤務など多種多様なフィールドをPRした「山形から世界へ」のリーフレット発出といった主な取組、令和2年度に向けた取組について報告があった。

委員のコメント

- 警察官採用試験の倍率を5倍台に保つことは適正な競争を確保する上で重要なことである。警察組織は様々な職種があり、かつ教養制度が充実している組織であるから、それらを更にPRしてほしい。
- 幅広く様々な分野で活躍したいと思っている人材にとっては、『山形から世界へ』というキャッチフレーズは魅力の一つであると思われる。インターンシップのイベントで警察業務の魅力に触れてもらう事も良いPRになるので、引き続き取り組んでほしい。
- 競争倍率は5倍以上が人材の質を担保できる倍率だと思う。女性警察官内定者の比率も全内定者の20%を占めており、採用されれば県警察の女性警察官の比率が上がることとなるので良い傾向である。今後もこれまでの施策の上に立って、様々な努力をして競争倍率の維持に努めてほしい。

3 警察における取調べの録音・録画の実施状況について

警察における取調べの録音・録画の実施状況について報告があった。

委員のコメント

- 録音・録画をしているか否かにかかわらず、これまでどおりベテラン捜査員からの技術の伝承とともに、心理学的見知に基づいた技術の習得を図ってほしい。
- 録音・録画が必要な取調べにおいて、機器の操作ミスによる録音・録画漏れ等が発生しないよう、十分に習熟しておいてほしい。
- 設備環境等に不足がないか心配していたが、これまでのところ順調に推移しているようであるから、今後とも適正な運用に努めてほしい。

4 イオンモール天童におけるテロ対処訓練の実施について

東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、ソフトターゲットを対象とした爆発物等の不審物件事案が発生した場合における対処能力の向上及び関係機関との連携強化を図ることを目的とし、本年2月18日、イオンモール天童においてテロ対処訓練を実施する旨の報告があった。

委員のコメント

- 訓練の実施内容等を見ると、かなり大規模な訓練であることが分かる。この訓練をとおして課題を抽出して、必要な対策を講じてほしい。
- ソフトターゲットを対象としたテロが実際に発生すれば、相当な被害が想定されることから、イオンモール天童での訓練は現実に即した効果的な訓練になるだろうと思う。
- いざという時に各機関が効果的に連携して活動できるように、このような訓練は繰り返し実施していかなければならない。